

施策分析シート

No1

施策名		戦略的な政策形成と行政改革の推進		施策No	16-01		部課名	総務企画部総務企画課	
							課長名	後藤 徹也	内線 2140
関連部課名									
行政評価事業体系		分野	区政推進						
		政策	効果的・効率的な区政の推進						
目的		○ 目指すべき区の将来像を区民と共有し、その実現に向けて戦略的・計画的な政策形成を図るとともに、簡素で効率的・効果的な区政運営を推進することにより、一層の区民サービスの向上や施策の充実を図る。 ○ 区民へ事務事業等をわかりやすく説明し、区政への参画意識を高めるとともに、成果重視やコスト意識の醸成など職員の意識改革を進める。							
指標	施策の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明		
			平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値(28年度)			
	①	行政評価分析シートの公開率	—	—	100%	100%	100%公表を継続する。		
	②	仕事を進める上で成果やコストを意識している職員の割合	—	—	—	—	今後実施する職員意識調査において把握		
	③	区政への関心がある区民の割合	54.7%	53.8%	51.1%	60.0%	区政世論調査の結果		
現状と課題		○ これまでも、各所管部課における事業の進行管理や、新生プランに基づく事業の計画的な執行を図ってきたが、事務事業について具体的な目標値を定め、効果的に評価・見直し・改善・推進を行っていく必要がある。 ○ 区民に対して、事務事業等をよりわかりやすく説明していくとともに、職員の意識改革を進めていく必要がある。							
今後の方向性		○ 新たな基本構想に基づき、区が今後目指すべき方向性を明確にするとともに、行政評価システムにより、常に政策・施策・事務事業の見直し・改善を行い、区民ニーズに的確に対応した行政サービスの提供を最小の費用で行える仕組みづくりを進める。 ○ 各分野において深い知識や豊富な経験を有する荒川区顧問からの意見聴取の場を活用し、より戦略的な政策形成を推進する。							

施策の優先度	優先度についての説明・意見等
A	より一層の区民サービスの向上や施策の充実を図るためには、常に政策・施策・事務事業の見直し・改善を行い、区民ニーズに対応した行政サービスを提供することが必要であり、優先度が非常に高い。

施策分析シート

No2

施策を構成する事務事業の優先度					
事務事業名	事務事業No	決算額（千円）		施策推進のための優先度	優先度についての説明・意見等
		平成16年度	平成17年度		
基本構想の策定	01-01-16	—	23,065	A	区政の指針であり、策定に向け最大限の取組みが必要
行政評価システムの推進	01-01-17	—	4,879	B	18年度から本格実施
行政改革の推進	01-01-18	—	—	B	引き続き積極的に推進
荒川区顧問	01-01-19	—	—	C	政策形成に資する
団塊の世代への支援	01-01-21	—	—	C	実施に向けて調査を進めていく
合 計		0	27,944		